

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
20	佐藤 菊乃（5）	<p>1. 介護予防・日常生活支援総合事業の見直しに伴う市民への説明や周知について</p> <p>令和6年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の見直しが決定している。今回の見直しは、高齢者の心身の状況を把握するための基本チェックリストを徹底活用することで、個々に効果的かつ効率的な支援サービスを提供することが可能になるとしている。</p> <p>また、支援内容についても通所型と訪問型の両輪で準備し、住み慣れた地域で元気に暮らす毎日を支えるサービスがより充実し豊富になっていると思われる。</p> <p>しかしながら、新制度及び実施される支援サービスについて、該当年齢層の市民やサービス提供者への説明が十分ではないと考えるため、見直しの実施まで半年を切った現時点での現状と課題について伺う。</p> <p>(1) 市民や事業者を対象にこれまでに実施された説明会は、どのようなものか。また、その反響はいかがか。</p> <p>(2) 説明会や準備段階において、市民や事業者は誰にどのような手段で質問ができるのか。また、当局はその質問に対してどのような対応と回答をし、周知させる予定か。</p> <p>(3) 地域において、本事業のキーパーソンは誰を想定しているか。</p> <p>(4) サービスを担う人員は、相当数確保できているか。</p> <p>2. 吉原東中学校の跡利用について</p> <p>本年度末をもって吉原東中学校が吉原第三中学校に編入統合され、中学校としての役割を終えることが決定している。</p> <p>現在、サウンディング型市場調査の中で、建物と敷地の跡利用を希望している団体の校舎見学を終え、各利用提案のヒアリングを行っているところであり、本年11月30日に調査結果を公表するスケジュールと伺っている。</p> <p>調査結果を公表し、今後どのような手順で跡利用を決定していくかについて伺う。</p> <p>(1) 調査結果の内容を踏まえ、今後の進め方はどうするのか。</p> <p>(2) 跡利用について、地域住民や提案者と一緒に考えていく必要があるため、担当の教育委員会だけでなく、利用提案内容に関係のある部署から人員を選出し、部や課を横断したプロジェクトチームの設置などは検討できないか。</p> <p>(3) シティプロモーションやブランディングを考慮し、当局が跡利用について希望することはあるか。</p>	市長 教育長 及び 担当部長